

# [1] 平成29年度(第35回)永井財団「財団賞(学術賞・技術賞・奨励賞)」授賞者

[各賞50音順/敬称略]

## 〔学術賞の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
1	学術賞	おぼた あきこ 小幡 亜希子	名古屋工業大学 大学院工学研究科 生命・応用化学専攻	細胞に働きかける綿状バイオマテリアルの開発
2	学術賞	なかむら ゆうじ 中村 祐二	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 機械工学系	マイクロ化による新規燃焼制御法：バーナを介した超過エンタルピー燃焼技術の開発
3	学術賞	なまづ たかひろ 生津 資大	愛知工業大学 工学部・機械学科	機械刺激による発熱反応誘起膜を用いたゼロエネルギー瞬間接合技術
4	学術賞	ひゅうが ひでき 日向 秀樹	産業技術総合研究所 構造材料研究部門 セラミックス組織制御グループ	窒化ケイ素セラミックスの高効率製造と高機能化
5	学術賞	やすい たかお 安井 隆雄	名古屋大学 大学院工学研究科 生命分子工学専攻	酸化物ナノワイヤを用いた非侵襲がん診断技術の創製

## 〔技術賞の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
6	技術賞	いぬかい こういち 犬飼 浩一 他2名	日比野工業株式会社	多種多様の部品ニーズに答える高品質ダイカスト技術の構築
7	技術賞	ふくい ひろみ 福井 宏海	ティビーアール株式会社	伝統産業の組紐技術で地球環境の改善・修復に貢献する製品開発
8	技術賞	ふくだ のりお 福田 徳生	あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター 化学材料室	再生 FRP を利用した機能性線材及びシートの開発
9	技術賞	みやけ たけし 三宅 猛司	名古屋市工業研究所 材料技術部 金属・表面技術研究室	パルスめっきによる膜の高機能化

## 〔奨励賞の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
10	奨励賞	おざわ ひろし 小沢 浩	名古屋大学 大学院経済学研究科	日本の製造企業における原価管理実務の理論化—生産システムの学習と進化のメカニズム—
11	奨励賞	きむら たつお 木村 辰雄	産業技術総合研究所 無機機能材料研究部門 物質変換材料グループ	超分子鑄型法と酸化物縮合制御を融合させた遷移金属酸化物の高表面積化技術の開発
12	奨励賞	くぼた みつひろ 窪田 光宏	名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻	多孔質固体塗布型吸着器を備えた新規除湿システムの研究開発
13	奨励賞	たさきりょうすけ 田崎 良佑	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 機械工学系	鑄造プロセスにおける流体制御技能の理解とロボットシステムインテグレーション

[2] 平成29年度 永井財団「研究奨励金」・「共同研究奨励金」・「素形材融合分野奨励金」  
・「モノづくり試作奨励金」 授賞者

[各50音順／敬称略]

〔研究奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
1	研究奨励金	うらた ちひろ 浦田 千尋	産業技術総合研究所 構造材料研究部門 材料表界面グループ	伸縮性に富んだ難付着表面処理の開発
2	研究奨励金	たなか まさよし 田中 正剛	名城大学 理工学部 応用化学科	軟骨組織に倣った水溶性高分子を充填した弾性構造体の構築
3	研究奨励金	なんぶ こういちろう 南部 紘一郎	豊田工業大学 材料プロセス研究室	粒子衝突による表面改質材に対する3次元測定を利用した非破壊検査技術の開発
4	研究奨励金	ほんだ みつひろ 本田 光裕	名古屋工業大学 大学院工学研究科 物理工学専攻	高感度室温オゾンセンシングへ向けた液相レーザーアブレーションによる新規ナノ材料の生成
5	研究奨励金	まついりょうすけ 松井 良介	愛知工業大学 工学部 機械学科	表面改質によるTiNi合金の腐食疲労寿命改善
6	研究奨励金	みやもとじゅんじ 宮本 潤示	大同大学 工学部 機械工学科	複雑形状を有する鋼に対する高プラズマ密度窒化法の開発
7	研究奨励金	もみやま のりえ 榎山 儀恵	自然科学研究機構 分子科学研究所 生命・錯体分子科学研究領域 錯体触媒研究部門	鋳型重合による有機分子触媒反応場の創成

〔共同研究奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
8	共同研究奨励金	もとばやし けんた 本林 健太	名古屋工業大学 大学院工学研究科 物理工学専攻	グループ名： 先端界面分光グループ 周期ナノ配列構造を用いた電気化学界面の精密分光手法の開発
		しまだ とおる 島田 透	弘前大学 教育学部 理科教育講座	
9	共同研究奨励金	よこい たいし 横井 太史	ファインセラミックスセンター 材料技術研究所	グループ名： セラミックス環境浄化材料研究グループ 結晶形態精密制御と光触媒機能付与による高機能ヒドロキシアパタイト環境浄化材の創製
		ごとう ともよ 後藤 知代	大阪大学 産業科学研究所 先端ハード材料研究分野	

〔素形材融合分野奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
10	素形材 融合分野 奨励金	かじ かつひこ 梶 克彦	愛知工業大学 情報科学部情報科学科	組み立て機器における相互作用 モデル化のためのセンサデータ 収集手法の検討
11	素形材 融合分野 奨励金	さかぐち たつひこ 阪口 龍彦	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 機械工学系	板金加工生産システムのための設計 と計画の統合化の研究
12	素形材 融合分野 奨励金	たかやなぎ しんじ 高柳 真司	名古屋工業大学 大学院工学研究科 物理工学専攻	抗原抗体反応検出に向けた液相用 薄膜共振子質量センサの開発
13	素形材 融合分野 奨励金	つかだ ゆうき 塚田 祐貴	名古屋大学 大学院工学研究科 材料デザイン工学専攻	組織シミュレーションと機械学習を 用いた材料開発手法の提案
14	素形材 融合分野 奨励金	みついし いくゆき 三石 郁之	名古屋大学 大学院理学研究科	薄膜フィルムを用いた飛翔体用 受動型熱制御素子の開発

〔モノづくり試作奨励金の部〕

No	区分	氏名	所属	研究テーマ
15	モノづくり 試作 奨励金	さわべ みく 澤邊 美駒	名古屋芸術大学 芸術学部デザイン領域	木工作品「きらきら りんりん こ ろころ」の製品化実現に向けての研 究活動

〔1〕「平成29年度 国際交流助成金」交付者  
〔上期〕

〔渡航日順／敬称略〕

No	申請者氏名	所属	国際交流目的	渡航先・日程
1	あだち のぞむ 足立 望	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	ENM Meeting on Metallic Glasses 2017 国際会議にて未来の素形材となり得る 金属ガラスの塑性変形についての研究 成果発表を招待講演として行う。また共 同研究先の探索を行う。	ドイツ ベルリン 2017/8/7～ 8/11
2	すずき あすか 鈴木 飛鳥	名古屋大学 大学院工学研究科	ポーラス金属材料に関する国際会議 (Metfoam2017)にて金属材料に種々の 処理を施すことで作られる、内部に多数 の気孔を有するポーラス金属の新しい 応用に関する研究成果発表を招待講演 として行う。また、当分野の研究者と研 究ネットワークの構築を図る。	中国 南京 2017/9/13～ 9/18
3	たなか まさあき 田中 雅章	名古屋工業大学 大学院工学研究科	磁気メモリーからモーター用磁石に至 るまでの磁性体に関する国際会議にて 細線上の磁壁の電流駆動現象について 研究成果発表と研究交流	米国 ピッツバーグ 2017/11/5～ 11/12
4	かわむら こう 河村 剛	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科	セラミックスおよびセラミックス複合 体に関する最新の研究成果や製品の紹 介を行う国際会議 (ICACC-2018)にてセ ラミックスの多孔構造の制御や多孔構 造を利用した新規複合材料創製に関す る最新の研究成果をオーガナイザーと して提供する。	米国 デイトナ 2018/1/21～ 1/27

〔2〕「平成29年度 大学院生海外研修助成金」交付者  
〔上期〕

〔渡航日順／敬称略〕

No	申請者氏名	所属	研修目的	渡航先・日程
1	よしだ ともたか 吉田 智貴	名古屋大学 大学院工学研究科	The 7th Asian Particle Technology Symposium (APT2017)にて新試験法によ る粒子懸濁液の圧搾特性の推算に関す る研究成果発表と研究交流	台湾 桃園 2017/7/30～ 8/3
2	もりやま なな 森山 なな	名城大学大学院 理工学研究科	製品の感性品質向上のための色彩設計 に関する国際調査を Color Research Center (タイ国)にて製品の感性品質を 最大に引き出す色彩条件明らかにする ための調査実験をタイ人に対して実施 する。日本人との結果比較し、感性構造 の共通点と差異を探る。	タイ タンヤブリ 2017/8/7～ 8/16

No	申請者氏名	所属	研修目的	渡航先・日程
3	ほそい ゆうへい 細井 悠平	名古屋工業大学 大学院工学研究科	254th American Chemical Society National Meeting & ExpositionにてN-ヘテロ環状カルベン(NHC)を用いたソルビン酸エステル類という重合素材の生成と、有機アルミニウム化合物を触媒利用した重合制御についてポスター発表する。	米国 ワシントンDC 2017/8/20～ 8/26
4	おぎ ゆうき 荻 佑樹	名城大学大学院 理工学研究科	新素材やその製法、特性、評価に関する国際会議にて超音波法を用いた路面材料の表面上状態の評価について研究成果発表と超音波測定技術を様々な素形材の評価に応用させるための情報交流調査	スペイン バルセロナ 2017/8/24～ 8/26
5	いとう ゆうか 伊藤 由華	大同大学 大学院工学研究科	第11回銑鉄鋳物のサイエンスとプロセスングに関する国際会議(SPC1-X1)にて離散要素法を用いた生型砂のスクイーズ成型シュミレーション開発について研究成果発表と研究動向調査を行う。	スウェーデン ヨンシェーピング 2017/9/2～ 9/10
6	いしかわ あかね 石川 茜	名城大学大学院 理工学研究科	第28回ヨーロッパ生体材料に関する国際会議にて生体吸収性の金属材料としてマグネシウム合金に関する基礎的研究について成果発表と研究動向と情報交流調査	ギリシャ アテネ 2017/9/3～ 9/11
7	じょ うんも 舒 運茂	名古屋大学 大学院工学研究科	10th International Conference on Porous Metal and Metallic Foam (Metfoam2017)にて燃焼合成反応によるバイポーラス構造を有するNi-Al金属材料の作製に成功したため、その研究成果を発表するとともに研究ネットワークの構築を図る。	中国 南京 2017/9/13～ 9/18
8	とりい こうた 鳥居 耕太	愛知県立大学 大学院情報科学研究科	第24回国際ITS会議(ITSWC)にて「Multivariate analysis of drivers biological effects of differences in driving simulator characteristics」について研究成果発表と技術動向調査	カナダ モントリオール 2017/10/26～ 11/5
9	みずの こうじ 水野 光二	名古屋工業大学 大学院工学研究科	2017 MRS Fall Meeting and Exhibitにて繊維径をナノサイズに成形した有機-無機ハイブリッド材料が重要であることを見出した。生理活性を保持した不織布に用いる素形材開発の重要性と、これをナノサイズに成形することの重要性に関しても報告したい。	米国 ボストン 2017/11/26～ 12/1

〔下期〕

〔渡航日順／敬称略〕

No	申請者氏名	所属	研修目的	渡航先・日程
10	にしかわ しゅうへい 西川 修平	名古屋工業大学 工学部 環境材料工学科	SRI 2018 国際会議において蛍光 X 線ホログラフィーによる BaTiO <sub>3</sub> の分極に関する研究成果のポスター発表と最新情報動向調査	台湾 台北 2018/.6/10 ～6/15
11	しまざき しょうた 島崎 正太	愛知県立大学 情報科学部 情報科学科	40 回 国際会議 (IEEE EMBC2018) にてカフレス血圧推定に関する研究成果発表と最新医療技術関連情報の収集および交流	アメリカ ホノルル 2018/7/17 ～7/21
12	きまた りょうすけ 木俣 良介	名古屋工業大学 工学部 環境材料工学科	国際会議 (IUMRS-ICEM2018) にて酸化コバルトナノ粒子の形成メカニズム、粒子表面に露出した結晶面と触媒特性の相関に関する研究成果発表と先端研究動向調査	韓国 大田広域市 2018/.8/19 ～.8/24

〔3〕「平成29年度 科学技術育成教育助成金」交付者

〔上期〕

〔開催日順／敬称略〕

No	申請者	事業目的	開催場所・日程
1	SSH東海 フェスタ2017 実行委員会	愛知県内のスーパーサイエンス・ハイスクール指定校が結集して研究開発の成果を発表し、情報交換して刺激を与える場とするSSH東海フェスタ2017	名城大学 H29/7/15 (土)
2	2017夏休みサイエンススクエア 豊田高専・岐阜高専 共同科学教育企画 出展グループ	小中学生が工作・実験・観察を通じて楽しみながら科学技術に親しむことができる新たな科学教材の企画・開発とそれを各種の科学教育イベントに提供することにより、科学に対する面白さや興味を喚起するための活動で、岐阜高専と連携し県内外を問わず幅広く応用展開することを目指して、サイエンススクエア 2017 に出展する。	国立科学博物館 H29/8/10 (木) ～11 (金)
3	青少年のための「無線通信技術」修得 研修会〔日本ボーイスカウト愛知連盟〕	青少年がIT技術の基礎の一つである〔アマチュア無線技士4級〕の資格を取得すること及び世界のアマチュア無線家との交信を体験することにより、なお一層科学技術に興味を持つことを目的とする「無線通信技術」を修得する研修会	日本ボーイスカウト 愛知連盟野営場 H29/10/28 (土) ～29 (日)
4	青少年のための科学の祭典 2017 東三河大会実行 委員会	小中学生を対象に、実験や工作等を通じて科学技術の楽しさ、発見、感動を実感できる場を提供し、青少年の科学技術への理解の増進と関心を喚起する科学祭典 2017・東三河大会	豊橋こども未来館 H30/1/20 (土) ～21 (日)

〔下期〕

〔開催日順／敬称略〕

No	申請者	事業目的	開催場所・日程
5	高校化学グランドコンテスト実行委員会	全国27都道府県66校より100チームが参加して高校生の化学に関する研究成果を発表し、情報交換して刺激を与える場とする第14回高校化学グランドコンテスト	名古屋市長市立大学 H29/10/28(土) .29(日)